

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)
指定管理者名	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立男女共同参画推進センター条例
施設の設置目的	女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現を図るため (相模原市立男女共同参画推進センター条例第2条)
施設概要	(1)所在地 相模原市緑区橋本6-2-1(シティ・プラザはしもと内) (2)施設規模 シティ・プラザはしもと 5,090㎡のうち、男女共同参画推進センター 1,509㎡ (3)主な施設 セミナールーム1～6、情報コーナー、であいの広場等
施設所管課	市民局 人権・男女共同参画課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	83,884	81,265	69,903				
使用料金合計(円)	9,033,817	8,759,535	7,630,108				
貸館率(%)	77.0	75.9	74.3				
講座等参加者数(人)	13,171	12,646	10,608				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	貸館率は目標値に達しなかったものの、講座等参加者の男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合は目標値を上回っており、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に向けた取組を着実に進めた結果であることから、「A」と評価した。

指標1

指標名(単位)	施設の貸館率(%)
指標式と指標の説明	(1)指標式: 施設の利用回数 / 施設の利用可能回数 × 100 (2)指標の説明: 当該施設の活用が十分図られているかを見る指標

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	77.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0	78.0
実績値(%)	77.0	75.9	74.3				
達成度(%)	100.0%	97.3%	95.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2

指標名(単位)	男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合(%)
指標式と指標の説明	(1)指標式: 講座等の参加者アンケートにおいて、以下のすべての質問に肯定的な回答をした人数 / アンケートの総回答人数 × 100 ・講座等に参加して、男女共同参画に関する理解が深まったか (「大変深まった」もしくは「深まった」と回答した人数) ・講座等で得たことを、家庭・職場・地域等で活かそうと思ったか (「はい」と回答した人数) (2)指標の説明: 講座等参加者における男女共同参画意識の高揚及び家庭・職場・地域等への男女共同参画の推進を見る指標。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	-	-	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
実績値(%)	-	-	74.5				
達成度(%)	-	-	106.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>通年で実施している講座、講演会等や市が定める男女共同参画推進週間に関連した事業について、適切な事業本数を実施しているとともに、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標値を上回っており、施設の設置目的を十分に達成していることから、「A」と評価した。</p> <p>なお、情報コーナーの運営や登録団体等の支援、自主事業としての女性の起業支援についても、継続して実施することが重要であるため、引き続き適切な運営等をお願いしたい。併せて、市民企画セミナーについては、参加者の男女共同参画意識がより高まる内容となるよう、企画団体の支援が必要である。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
男女共同参画の普及啓発のための講座、講演会等の企画運営	通年	<p>「第2次さがみはら男女共同参画プラン21」に基づき、男女がともに家庭と社会の責任を分かちあい『自分らしく生きる』視点を大切にした講座等の企画・運営を行った。</p> <p>実施事業数：40本（ほか、新型コロナウイルス感染症の影響による中止事業2本）</p> <p>参加率(平均)：78%</p> <p>男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合(平均)：79.4%</p>	
市が定める男女共同参画推進週間に関連した、男女共同参画意識の普及高揚を図ることを目的とした事業	6/22(土)～7/7(日)	<p>多くの市民が男女共同参画について考える機会となるように、また、ソレイユさがみを広く周知するために、市が定めるさがみはら男女共同参画推進週間(6/23～29)に合わせて、講演会やセミナー、ワークショップを開催するとともに、登録団体による活動発表や体験講座等を開催した。</p> <p>実施事業数：6本</p> <p>参加率(平均)：116%</p> <p>男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合(平均)：76.7%</p>	
情報コーナーの運営（図書等の購入、貸出し、返却業務等）	通年	男女共同参画に関する基本的な内容の資料や、課題解決に役立つ実践的な内容の資料を収集・提供した。	
登録団体・市民団体等の活動支援	通年	男女共同参画社会の実現を図ることを目的に活動する市民・団体等の相談・支援を随時行うとともに、登録団体連絡会等を開催し、各登録団体の活動内容の報告をいただくとともに、男女共同参画に関する情報の共有等を行った。	
市民企画セミナーの開催	通年	男女共同参画社会の実現を目指したセミナーや講演会等の企画、実施を希望する団体やグループに、講師謝礼を助成するとともに、セミナー等実施会場の提供や運営補助を行った。 <p>実施事業数：5本</p> <p>参加率(平均)：64%</p> <p>男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合(平均)：52.3%</p>	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ソレイユゆめひろば	<p>展示：通年</p> <p>販売：毎月1回</p> <p>3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止</p>	<p>自分の特技や趣味を活かし、起業したい女性の活躍を支援するため、オリジナルハンドメイド作品の展示や販売を行う「ソレイユゆめひろば(販売場所はプチマルシェという。)」をであいの広場に設置し、出展支援等を行った。</p> <p>実施事業数：2本(プチマルシェ、スマホ撮影講座)</p> <p>講座等回数：12回</p>	

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	講座等参加者の満足度について、目標値を上回っているため、「A」と評価した。 また、貸館の利用等、様々な施設の利用方法がある中で、その利用方法ごとに利用者のニーズ等を把握するための取組を行っていることは、高く評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	講座等の参加者に対してアンケート調査を実施 / 時期: 通年 / サンプル数: 約900件
目標値の基準	講座等に対する全体評価、スタッフ対応、講師、環境について尋ねる各設問における「大変満足」及び「満足」の割合の平均: 90%以上

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	-	-	90	90	90	90	90
実績値（%）	95.4	93.6	93.8				
達成度（%）	104.9%	103.0%	104.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

平成29年度及び平成30年度は、実績値に110/100を乗じた値を達成度としていた。

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
お客様の声	通年	正面入り口前に回収箱を設置し、センター利用に係る意見・感想等を募集するとともに、いただいた意見等に対する対応・回答を掲示し、利用者全体に周知するもの。
ソレイユさがみ施設利用記録用紙	通年	セミナールーム等の利用者に対し、利用内容・利用人数等のほか、施設への意見や要望等を尋ねるもの。
であいの広場利用記録用紙	通年	共有スペースであるコミュニティゾーン利用者に対し、利用人数や利用内容等を尋ねるもの。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	指定管理者の財務状況について、流動比率及び自己資本比率は十分である一方、指定管理料の規模と比較し、正味財産が少なく、経営規模が小さいことから、団体の経営状況については若干の懸念があるものの、施設の収支については、本体事業収支、全体収支ともに黒字であることから、「A」と評価した。

施設の収支概要		直近3年間について記載		
		（千円）		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入（a）		25,873	25,756	26,593
	指定管理料	15,742	15,742	17,707
	使用料金収入	9,034	8,760	7,630
	その他の収入	1,097	1,254	1,256
支出（b）		24,741	24,859	26,253
	人件費	20,089	20,381	22,047
	本社管理経費	0	0	0
	その他の支出	4,652	4,478	4,206
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		1,132	897	340
自主事業収入（d）		127	180	259
自主事業支出（e）		49	108	126
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		78	72	133
全体収支【(c)+(f)】		1,210	969	473
備考	[H30 R1人件費増の理由] 非常勤職員の時給を983円から1,029円に引き上げたため。また、常勤職員の日給についても、800円増額したため。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックシートに基づき、指定管理者へのヒアリング及び現地確認により検査を実施した。
実施時期	令和2年10月6日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

さがみはら男女共同参画プラン21等に基づき、53事業(126回)の講座等を開催し、各事業の目的を明確にして男女共同参画の普及啓発を行いました。講座等参加者アンケートによる男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合については、目標値を上回る74.5%となり、講座開催時に目的等の説明を行うように努めた結果であると考えております。

また、講座等の開催については、国、県ほかひとり親家庭福祉協議会や総合就職支援センター、近隣の大学、保育園、登録団体など様々な機関と連携して、財源、人的、広報資源など、費用対効果の高い事業展開ができたと考えます。

なお、施設の貸館率は74.3%と目標値に達しませんが、今後も引き続きあらゆる機会を捉えて若年層をはじめとする多くの皆様に積極的にPRしてまいりたいと考えております。

9 所管課意見

年間を通して、様々な講座等を開催し、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標の70%を上回る74.5%となったことは、施設の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決及び男女共同参画社会の実現」に大きく寄与する取組結果であり、評価できる。また、若年層に対する啓発効果を高める手法として、企画段階から若年層の視点を取り入れる等、より効果的な事業実施に向けた取組を行っていることについても、高く評価できる。

施設の経営状況については、指定管理料への依存が高い状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響による閉館により、約1か月分の施設使用料収入が無くなったにも関わらず、マイナス収支となっていない点は評価できる。

上記の理由に加え、高い利用者満足度を維持していることから、施設運営は適切に行われているものと評価する。

また、新型コロナウイルス感染症対策の実施、風水害時避難場所への新規指定等、施設を取り巻く状況が大きく変わり、柔軟な対応が求められている中で、今後も、男女共同参画の活動拠点として、より効果的な事業実施、施設運営に取り組んでいただきたい。

10 選考委員会意見

新型コロナウイルス感染症の影響により、施設運営に様々な困難が生じている中、事業を実施し、男女共同参画意識の高揚に繋がったと考える人の割合が目標値を上回っていることや、高い利用者満足度を維持していること、施設の経営状況が健全であること等について、評価できる。なお、利用者満足度調査については、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、施設の利用方法に制限が生じている中では、現在の調査内容が実情にそぐわない可能性があるため、来年度以降、調査手法や目標値について見直しを行ってもよいのではないかと。

新型コロナウイルス感染症への感染を恐れ、外出できなくなっている人もいるため、オンラインにて事業を実施し、繋がりを作った上で、可能であれば対面による事業に参加してもらおう等、事業の実施方法に工夫が必要であると考えます。また、オンラインによる事業については、若年層にも届きやすいというメリットもある。感染を防止するため、対面による事業を縮小しなければならない一方、対面で行えないこともあり、事業の実施方法については難しい判断が求められるが、工夫して実施いただきたい。

男女共同参画社会の実現に向けて取り組むべき事項は、性的少数者に係る取組や非正規雇用に係る取組等多岐に渡っているが、「男女共同参画推進センターにしかできない事業」を明確にいただき、他の施設等との差別化を図り、引き続き積極的に事業を実施いただきたい。

総合評価(自動判定)

A

(75/100)

